

テーマ： 「ヴェローナ・カピトゥラリア
Capitulare Veronense (967年)」からみる
北イタリアの法文化

発表者： 柴田 隆功氏

日時： 12月17日（土）午後2時より

会場： 首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス
千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル 12階

参加費： 会員は無料，一般は500円
西洋中世学会会員の方も無料。受付にてお申し出下さい

オットー大帝は第3回イタリア遠征の最中にヴェローナで「カピトゥラリア」を發布した。これはイタリアにおける地財をめぐる紛争解決手段についての条項を含んだ法令である。本報告では、この法令の内容や作成の過程を、オットーの法的な活動や支配確立の文脈、文書や規範に関する慣習との関係、同時代史料中での法令が扱う事項と関連のある事象という3つの側面から分析し、本法令の作成や運用に関与した人々の規範についての認識を考察する。

地中海学会研究会

テーマ

「ヴェローナ・カピトゥラリア
Capitulare Veronense (967年)」からみる
北イタリアの法文化

発表者

柴田 隆功氏

日時

12月17日(土) 午後2時より

会場

首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス

千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル 12階

参加費

会員は無料, 一般は500円

西洋中世学会会員の方も無料。受付にてお申し出下さい

後援：西洋中世学会

106-0046 東京都港区元麻布 3-12-3 麻布聖徳ビル 2F ☎ 03(6804)6791

地中海学会